

もっと知ってほしい、デイケアだからできること。

ほほえみ通信+

hohoemi



vol.19

Jul. 2023

西宮協立デイケアセンター ほほえみ

西宮市津門呉羽町10-13

TEL:0798-36-6780 FAX:0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ

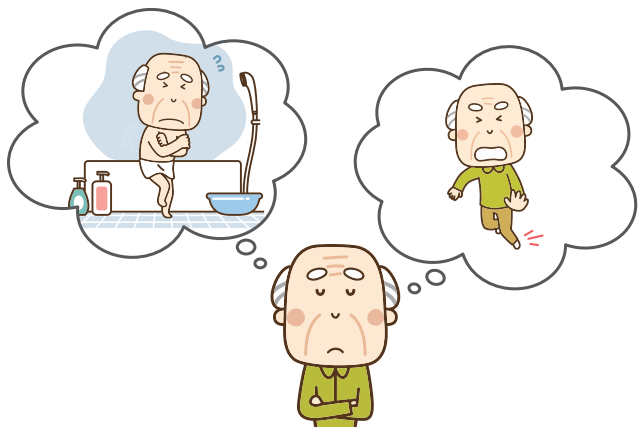
西宮市津門呉羽町9-10 1F

TEL:0798-33-3501 FAX:0798-33-3502

通所リハでリハビリをして

通所介護を再開しましょう!

*「通所リハ=デイケア」「通所介護=デイサービス」



通所介護を利用中の方で
このような課題はありませんか?

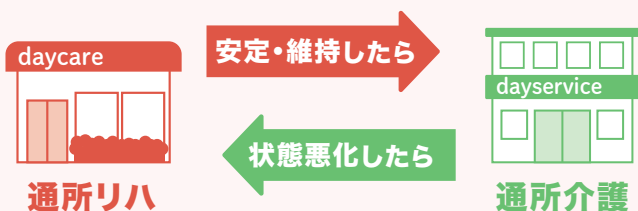
- ◆ 転倒後、歩行や入浴がしにくくなった
- ◆ 入院してから身体が動かしにくくなった
- ◆ だんだんと飲み込みがしづらくなっている



以前と比べて身体の不調を実感されている場合、リハビリの必要があるかもしれません。

通い慣れた通所介護を再び利用できるように、西宮協立デイケアセンターほほえみ・第2ほほえみでは、一時的なサポートが可能です。

あらためて、通所リハの役割を知っておこう。



通所リハは“循環型施設”です。

身体の変化に応じて、

利用することができます。



通所リハでは、医師の指示に基づき、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などのリハビリ専門職が利用者さまの心身生活機能を把握します。その上で、日常生活の困りごとや身体の不自由等が少しでも解消できるよう、**その人固有の「目標」を設定しリハビリを行います。**また、**居宅訪問を通して実際の生活に合わせたりハビリができる**ことも通所リハ特有の強みです。

目標達成の見込みが出てきた頃に、通所介護や地域活動への移行を利用者さま・ご家族・ケアマネジャーと相談します。

通所リハは循環型施設ですから、通所介護に復帰した後も、状態悪化することがあれば、もう一度利用を始めることができます。身体機能・生活機能を改善し、再び通所介護に戻れるよう支援します。

Point

当事業所では、「生活機能向上連携加算」にもご協力できます。お気軽にご相談ください。



基本情報

年齢 86歳
性別 女性
介護度 要介護1

転倒による入院・退院の後にADLが低下。

通所リハを一時利用することで通所介護の再開を目指した例をご紹介します。

通所介護を週2回利用されていた。

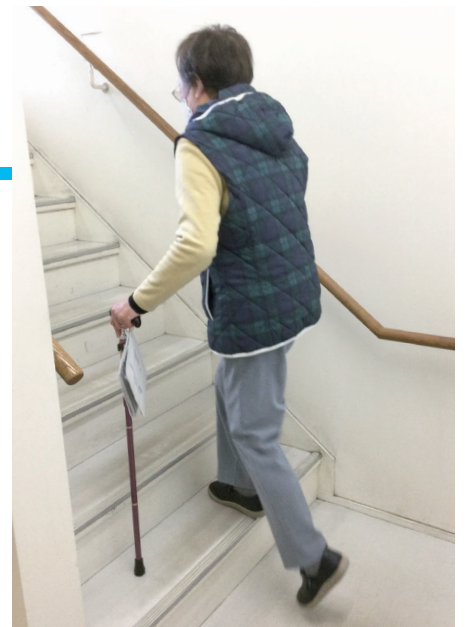
ADLは自立。寝室は2階にあり、ベッドで寝起きしている。

「2階の寝室へ行きたい」というご本人の希望あり。

利用開始時

目標：2階の寝室で寝起きができるようになりたい

自宅の庭で転倒し、右半月板損傷で入院。退院後、膝の疼痛があり階段の上り下りが困難となった。元のADL獲得に向けて通所介護の利用を休止し、通所リハ利用を開始される。通所リハ利用時は、膝の状態に応じたりハビリ内容に調整し、動作指導や環境設定を行った。



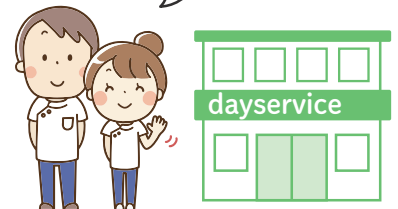
3ヶ月後

階段の上り下りが可能となり、元のADLまで改善された。

目標達成後

元のADLまで改善された後、ご本人、ケアマネジャー、ご家族と相談し、以前通っていた通所介護の利用を再開することとなった。通所リハと通所介護を併用する期間を経て、通所介護の利用回数を段階的に増やした。目標達成後、通所リハを卒業し、通所介護のみの利用となった。

おかえりなさい♪



Point

転倒による運動機能低下後、通所リハにて退院直後のリスク管理及び動作指導を行った。状態に合わせて以前利用していた通所介護を徐々に再開し、引き継ぎを行った。